議会だより みさと

美郷町議会だより
第15号
平成20年7月

美郷町議会 第2回定例会報告 …… 2
美郷町議会議員の定数を定める条例案可決 …… 3
一般質問 7人が登壇 …… 4
追跡 どうなったの？あの質問… …… 9
委員会報告 産業建設常任委員会視察報告 …… 9
住民の声 …… 10

発行／美郷町議会 〒699-4621島根県邑智郡美郷町 TEL 0855-75-1211 FAX 0855-75-0135 編集／議会広報編集特別委員会

美郷町議会 第2回定例会報告

議長
吉田義雄

平成20年第2回定例会は6月9日に招集され、会期を5日間の6月13日までと決め条例案2件、一般事件案5件、報告案1件が提案され慎重審議しました。

4日目の12日には一般質問が行われ7人が質問台に立ち町行政に対し質しました。また、開会初日には議員定数等検討特別委員会委員長より議員定数2人減の審議報告がされ、それを受けて最終日に議員発議で提案され賛成多数で可決し、次期一般選挙より12人の定数とすることになりました。他の案件も可決及び承認して閉会しました。

提案された議案

条例

◎美郷町福祉医療費助成条例の一部改正

●福祉医療費助成に肝炎のインターフェロン治療が追加された。

◎美郷町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

●消防団員等にかかる損害補償基礎額の加算額が引き上げられた。

一般事件案

◎専決処分の承認を求める件（美郷町税条例の一部改正）

●国の税制改正に伴いふる里納税に伴う控除、証券税制、法人住民税、住宅税制、個人住民税の特別徴収の導入等について改正された。

◎専決処分の承認を求める件（美郷町国民健康保険税条例の一部改正）

●後期高齢者医療制度の導入に伴い支援金創設等が改正された。

◎専決処分の承認を求める件（美郷町使用料及び手数料条例の一部改正）

●戸籍法の改正に伴い戸籍等の交付申請について取り扱いが厳重となった。

◎専決処分の承認を求める件（平成19年度美郷町一般会計補正予算第6号）

●特別交付金等の確定により954万1000円を追加し総額63億3375万1000円となった。

◎地籍調査事業地籍測量業務委託契約の締結

●久保・湯抱・野間の地籍図根測量及び三反谷・野間の地籍図原図地籍測量を委託契約。

報告事件案

◎平成19年度美郷町一般会計繰越明許費について

●繰越事業であった林道一本木線について4月30日に完了した旨が報告された。

請願・陳情

種別	請願・陳情の要旨	提出者	審議結果
請願	美郷町粕渕地区商店街周辺整備について	美郷町商工会 美郷町観光協会	継続審査
陳情	町道新堀線・湯抱線の排水整備について	湯抱自治会	採択
陳情	後期高齢者医療制度「中止・撤回」の意見書採択について	島根県社会保障推進協議会	継続審査

美郷町議会議員の定数を定める条例案 可決

議員定数を14人→12人に

開会初日に議員定数等検討特別委員会委員長より議員定数2人減の審議報告がされ、それを受けて最終日に議員発議で提案され、賛成12、反対1の賛成多数で可決した。次期一般選挙より12人定数とすることになりました。

●反対討論●

佐竹一夫議員

私は、この定数改正案に反対し、現状の定数を主張するものであります。

現在の議会が住民の意思を十分反映できるシステムとして機能しているかというと、色々な問題点が指摘されています。たとえば、様々な住民運動が起こり、住民参加が叫ばれるのは、多様化し増大する住民ニーズに議会が十分対応できないからだとする見方もあります。そこで住民の代表として議会へ出席する議員は多ければ多いほど多くの住民の意見を代弁する事ができ、より直接民主制に近づけるのではないかということでありますが、現在の地方自治法では、人口により定限が定められており、我が町では、18人が定限であり、定限を超えて増加させることは出来ないのであります。

当町では、合併時に調整し、法律で定められた定限の18人から4人減らした14人でスタートしたものであります。しかし、それから5年もたたない今回、さらに見直しをということには疑問を感じるものであります。

今回、議員定数等検討委員会を設置するきっかけは、住民からの要望ということでしたが、その意図は何だったのでしょうか。「あなた方のように立派な方々ばかりおられれば、我々の意見も代弁して頂けるし、そんなに人数もいらないではないか」、ということなのか又は、「あなた方のような方々では、我々の意見も代弁してもらえないし、聞いてもらえない、そんなことなら何人いても同じだから、そんなに人数はいらないのではないか」ということなのか、わかりません。

私の周りで意見を聞いた中では、現状維持で良いのではないかという声が多かったように思います。

さらにこれが、財政的なことだといわれるなら、現在、議員は報酬の7～5％カットで協力しており又、議員が2人減となっても、町の一般会計にしめる割合は0・3％弱であり、これにより失うものの方がはるかに大きいのであります。

最初に申し上げたとおり、我々は住民の代弁者であります。少しでも多くの住民の声を議会へ届けるためには、出来るだけ多い方が良いのでありますが、法律上の定限がありますから、そうもいかないのであります。しかし何の根拠もなく法律が出来ているわけでもありません。最小の住民の町でも12人の定数が示されていることであります。法律上の定限以下なら何人減らしても良いということではないと思います。

最後に、本年3月、島根県が、合併した市町村を対象に行ったアンケートの結果によれば、合併による懸念、問題点としての住民の声が色々あります。「役場が遠くなって不便になった」「中心部と周辺部の格差が拡大した」「行政サービスの低下や住民負担の増となった」などありますが、このうちもっとも多かったのは、『住民の声が行政に届きにくくなった』という意見であり、全体の半数近くあったということをお伝えして、私の反対討論を終わります。

●賛成討論●

岡先利和議員

私は、賛成の立場から意見を述べさせて頂きます。地方分権改革が進み地方公共団体の自己責任はますます大きくなった。これに伴い地方議会の役割も変容し議員定数、議員報酬、議員活動など議会のあり方が全国的に問われております。そうした中にあって美郷町議会においても当然のことながら定数等の見直しを行うべきであり、事実、特別委員会を立ち上げ検討されたことは評価される。そしてその検討特別委員会の出された結論について自ら賛成の意を表し皆様の賛同を求めるものでございます。行財政改革の最中、執行部における職員の早期退職等による財政健全化に対する努力は並々ならぬ決意である。議会としても同等の決意を持って、定数を減じ財政削減に貢献するのは当然の理である。また、定数14人を12人にする発議に対しても人口割、面積割等を考慮して妥当な数字だと確信をしております。以上発議に対し原案の通り賛成することを申し述べ賛成討論とします。

7人登壇

一般質問

町長
沖野　健

町長二期目の行政は

支援があれば引続き担当する

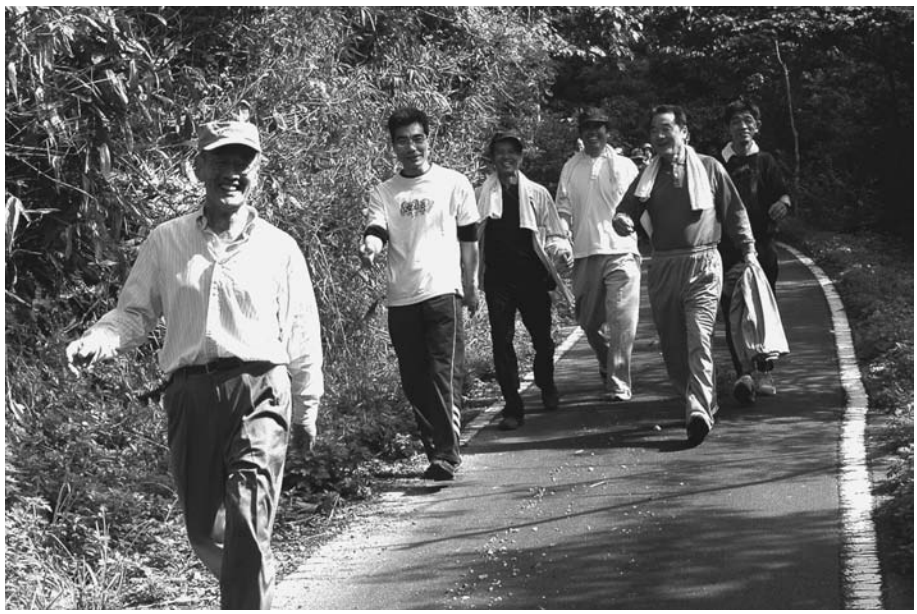
黒川民次郎 議員

問　今年度の一般会計予算は、57億790万円で前年度対比の7・5%の減額である。厳しい財政状況にあって町内の景気・雇用環境を維持するためにも道路改良を含む土木・建設事業は昨年並みに確保された。大変厳しい町政運営の中でこの4年間の実績としては、最優先に行政改革の取り組み、それと、一般財源総枠配分方式により、歳出の節減合理化に取り組んで来られた。以上のようにこの4年間の実績は高く評価される。

町長は、二期目も引き続き町政を担当される考えはあるか。

沖野町長

答　この4年間を通じ色々な角度から町の実態、そして今後のあるべき姿について学ばせて頂き、今、町長としてやらなくてはならない課題が余りにも多いことに重ねて気づかせて頂いた。この課題を克服し、町民の皆様に幸せを感じて頂ける町づくりを目指すことがより大切であろうと思う。私なりに色々考えた所であるが、町民の皆様の多くのご支援ご支持が得られるならば引き続き町政を担当させて頂き、美郷町のために全力を傾注したい。



ウオークラリー参加の沖野町長

上下水道事業管理を民間事業者に

早急に検討したい

原　修 議員

問　本年4月より、10%程度の簡易水道使用料が値上げになった。上下水道事業の運営は厳しいものと判断する。

今後、職員数の適正化や行政コスト削減の面から、専門的技術や経営の効率性を兼ね備えている民間業者への委託を検討すべきではないか。

沖野町長

答　上下水道事業管理は、合併以後、直営で行っている。

旧大和村時代は、業務委託による対応が安価となる理由で、施設管理業務や漏水管理業務等を委託していた。

美郷町では、合併協議において、職員配置の検討がなされ、直営方式がベターであると判断された。

現在、職員定員適正化計画に基づき適正定数の確保に向け年次的に取り組んでいる。

今後、どの方法が安心・安全な水の供給ができ、水道事業運営の健全化につながるか、下水道事業も合わせて検討して行きたい。

小中学校・保育所施設の耐震性は

邑智中学校は耐震化判定基準未満

問　中国四川省の大地震では学校施設に甚大な被害が出た。

本町の小中校舎及び保育園舎の耐震性に不安を抱く。

学校施設は地域の防災拠点として大切な役割をも担う。

町民の不安を一掃するために町長の見解を尋ねる。

①　1981年（昭和56年）以前に建てられた施設の耐震診断は。

②「島根39棟、大地震で倒壊の危険性」との報道に本町の施設が含まれるか。

また、保育所施設はどうか。

それぞれの施設の耐震化数値は。

③　耐震基準を下回る施設があるとすればその対応は。

沖野町長

答　一点目と三点目の質問が関連があるので同時に回答する。

耐震診断は、昭和41年に建設された邑智中学校の校舎及び体育館が該当する。

耐震化優先度調査を実施した結果、優先度ランク5段階の内、体育館がランク4と示された。校舎がランク2、この数値は少ない方が優先度が高い。

邑智中学校は、耐震構造となっている邑智高校に移転計画が具体化している。時期は平成21年度中（三学期）と平成22年度4月の案がある。できるだけ早い時期に移転できるよう島根県と調整をしている。

次に二点目の報道は、島根県内の公立小・中・高校施設の内、1981年（昭和56年）以前の建物は687棟で、その一部で詳しい二次診断をした結果、市町村立小・中学校施設22棟、県立市立高校と特別支援学校の施設17棟の39棟という内容になっている。

邑智中学校は詳しい耐震調査は行っていないのでこの39棟には入っていない。

また、耐震化の数値は、耐震改修促進法では耐震指標の判定基準（IS値）を0・6以上としており、それ以下の建物については耐震補強の必要がある。

邑智中学校の場合は、建築年次からの判断であるが判定基準未満である。

次に保育所2施設は邑智会と都賀保育園が所有し、町所有の4施設は全て昭和56年以前に建築された。

児童福祉施設は現在のところ耐震診断の義務づけはなく、耐震診断は行っていない。

国においても重要な課題として協議がなされている。今後その動向を注視しながら適切に対応して行く。

昭和41年建設の邑智中学校

県道美郷飯南線 酒谷地内の改良は

早期再開に向け強く要望する

景山良材 議員

問 酒谷上から飯南町までの約930mは、未改良区間で急勾配のうえ、幅員が狭く特に冬期間は積雪も多く、交通の難所として古くから改良の要望が強く求められている。

国道54号への接続道として、また石見銀山観光ルートとしての交通量も多く、積雪時の通勤時間帯等は、交通渋滞となることが度々あり、早急な改良が待たれる。

沖野町長

答 県道美郷飯南線は、上川戸の国道375号から分岐して沢谷を縦走し、国道54号に連絡する重要な生活路線である。

又、美郷町と飯南町を結ぶ生活・産業・観光・交流等さまざまな役割を担う路線であり、近年では、石見銀山への京阪神方面からのサブルートとしても設定されている。

当路線は、本町分で13kmあり、平成19年度に九日市工区が完了し、未改良区間は町境の930mとなっている。その後、県の厳しい財政状況の中、事業休止路線となっているが、美郷町の主要路線として改良工事の早期再開に向け、あらゆる機会において今後も強く要望する。

飯南町境から美郷町へ

生徒・児童の防犯対策について

安全・安心なまちづくりを呼びかけて

旗根正一 議員

問 5月中旬に大和小学校の児童が、下校時に不審車輌に尾行される事件が発生している。幸いにして大事には至らなかったが、このようなことが、これまでにも町内で数件発生し、何れも解決していない。各地域や団体等により、防犯対策に取り組まれているが、提言として通学路の商店や民家の軒先等に「青色回転灯」を設置して防犯対策に努めてはどうか。

沖野町長

答 近年、児童・生徒等を巻き込んだ犯罪が多発している。本町においては児童・生徒に対し、注意喚起を行い又、保護者、地域住民に対しては「児童・生徒の見守り」の協力をお願いしているところである。

別府小松地地域又、浜原

青色防犯パトロール隊

地域では、青色防犯パトロール隊を結成し活動が続けられている。昨年12月に「美郷町安全で安心なまちづくり条例」が制定された。この条例でもお願いしているように、町の責務、町民の役割、地域活動団体の協力、事業者の役割の中で「安全・安心なまちづくり」を呼びかけている。児童・生徒の安全確保は「人の目」であり「住民の声かけ」であろうと思う。

地域防犯組織の結成など、引続き町民の理解を得るよう呼びかけたい。

青色防犯灯についても費用がかかるが今後前向きに検討したい。

高齢者への人間ドック助成を

広域連合へ強く要望

問 本年4月から導入された、後期高齢者医療制度により、75歳以上の方の人間ドック助成が、多くの市町村で廃止された。厚生労働省のまとめでは、これまでは全国1800市町村の内723市町村で助成を実施されていたが、4月からは582市町村で廃止され、現在では1001市町村が独自で助成を継続されているとのことである。美郷町においても高齢者が健康で長寿していただくために、75歳以上の方の人間ドック助成を町独自で実施してはどうか。

沖野町長

答 美郷町の人間ドック助成については、限られた財源の中で保健事業の一環として、生活習慣の改善が必要となる40歳から69歳までの方を対象に、30名の枠で実施している。又基本健診を初めとし、各種ガン検診を実施しており、これらを全部受診されれば、おおよその疾病は早期に発見できるものと理解している。

75歳以上の方の人間ドック助成については、島根県後期高齢者医療連合では、保険料算定の基礎となる事業計画において、人間ドックは計画されていない。

しかし、今後広域連合において費用の面や実施方法等について検討される。

町としても保険者である広域連合で実施するよう強く要望する。

邑智高等学校閉校後の粕渕中心市街地街並み振興策は

前向きに検討したい

品川光博 議員

問 邑智高校もいよいよ平成21年3月には閉校となる。町の灯りがまた一つ消えてゆく。登下校時の賑やかさも、姿も見えなくなり、市街地の活力が失われて行くことに一抹の寂しさを感じている。

学校再編協議において、統合案を了承するにつけ、通学費の助成、通学列車の適正なダイヤ改正、川本波多線の道路改良等々島根県へ要望書を提出。そのなかで地域振興についても、出来る限りの支援を行うとの確約があった。

著しい影響を受ける美郷の顔である粕渕地域中心市街地の活力ある街並み振興策について町長の所見を問う。

沖野町長

答 粕渕商店街の振興発展については、商店街、商工会、観光協会においても鋭意努力を頂いている。

バイパスの完成や近隣市の大型店舗が進出したこと、消費者のニーズが変わったこと等による衰退が大きな要因と考える。

粕渕商店街の活性化方策については、ビジョンに基づき、商店それぞれが魅力ある店づくり・商店街づくりを進めることが重要と考える。

先月末に、美郷町商工会

粕渕中心市街地

美郷町の町民所得について

産業振興を積極的に進めたい

岡先利和 議員

問 2005年度の市町村民経済計算推計結果によると、県内総生産は前年度に比べて0・3％減であり、住民一人当りの所得に換算した場合、所得が最も少なかったのは208万円の美郷町であった。自治体の歳出抑制による影響や、公共事業の圧縮による建設業の衰退などが主な原因と見られ、中山間地域の低迷が目立つ。住民の生活基盤である所得の向上を真正面に捉えた施策よりも、財政指数の改善のためにと偏った行政になっていなかったか。今一度検証してみる必要がある。現状に対する町長の所感を伺う。

沖野町長

答 市町村民経済計算は、市町村の経済活動を計測したもので、農林業センサス、国勢調査などの各種統計数値を活用して計算されている。美郷町の数値が低いのは、賃金、俸給、民間企業所得が低いことが原因と分析されており、少子高齢化による生産年齢人口の減少に伴う農林水産業や製造業、建設業などの生産額などが上がらない現状がある。この現状を打開するためには、地場産業、農林業などの産業の振興、雇用の場の確保や若者定住住宅建設などによる定住対策をすすめる事が大切であり、政策方針を着実に実施したい。

並びに観光協会から「美郷町粕渕地区商店街周辺整備についての要望書」が出たが、町も行財政改革を進めている最中であり、事業内容、補助事業の導入、負担等を含め、行政・商工会・観光協会が連携を密にしながら前向きに検討したい。

国民保護法にもとづく保護計画

自衛隊は助言者・講師とし、委員の委嘱はしない

佐竹一夫 議員

問 武力攻撃事態における国民の保護に関する法律が施行され、当町においてもこれに基づく保護計画が策定されている。この計画による会議の委員を見ると、防災計画、水防計画と変わりがない。事態は言えば戦争であり、まったく違った事態が想定される。この計画には、会議の委員に自衛隊を加えることが出来る。戦争を肯定するものではないが、計画が計画だけに、委員に加え意見を聞いてはいかがか。

沖野町長

答 美郷町国民保護計画には、国民保護措置に関する権利、利益の救済、情報提供関係機関の連携、国民の協力など9項目から基本方針を定めている。これらの基本方針からこの計画は、武力攻撃の形態、規模を想定して作られるのではなく、なんらかの武力攻撃が予想される場合、関係機関が連携して、速やかに避難し、また避難や国民保護措置に従事する者達に対し必要な援助、協力を想定するものとなっている。つまり武力攻撃の大小はあるにせよ国民の安全確保、国民の協力を規定していることから、協議会の委員に自衛隊からの選出を特段指定されていない。

避難や武力攻撃に対処する組織として自衛隊があたることになり、この点からいえば、連携、協力組織として協議会に加えることも必要かと思う。しかしこの委嘱にあたっては、防衛省において、意向があっても必ずしも承認されない場合もあることや、手続きにかなりの時間を要することも聞いている。県下では現在松江、出雲、安来、江津の4市が委員に加えている。当町では、必要に応じて助言者、講師としてお招きするに止め、当面委員として委嘱は見合わせたい。

美郷町国民保護計画

第5章　町国民保護計画が対象とする事態

町国民保護計画においては、以下のとおり県国民保護計画において想定されている武力攻撃事態及び緊急対処事態を対象とする。

1　武力攻撃事態

町国民保護計画においては、武力攻撃事態として、県国民保護計画において想定されている事態を対象とする。

なお、基本指針においては、以下に掲げる4類型が対象として想定されている。

① 着上陸侵攻
② ゲリラや特殊部隊による攻撃
③ 弾道ミサイル攻撃
④ 航空攻撃

追跡 どうなったの？あの質問…

本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。
指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるのかを追跡調査しました。

問… 若者定住住宅建設事業の入居に関して（山手ニュータウン）

答… 入居要件を踏まえ対応したい

○ 入居者の公募・入居要件審査会の設置等の時期については、公募は平成19年６月22日から８月31日まで行なわれた。審査会は９月６日に開催され、５戸の入居者が決定された。

○ 町内、町外の戸数割合は問わない。診査結果により町外３戸、町内２戸（内Ｉターン２戸、Ｕターン１戸）が入居された。
山手ニュータウンの入居総数は大人10人、子供10人の合計20人となりました。

委員会報告

産業建設常任委員会視察報告

日　時　平成20年６月４日
視察場所　江津市桜江町
視察目的　播磨屋林業株式会社及び桑茶生産組合
竹林活用による有機農法について
出 席 者　委員全員、波多野課長、日高課長、岸本課長、漆谷局長

竹には本来抗酸化、抗菌、消臭作用の他に強い生命力を持っている。

これは、竹に含まれる乳酸菌の働きだと考えられている。そこで竹の持つ効果を最大限に発揮するため、自然の若竹（１～３年生）の孟宗竹を常温で粉砕し（20～500ミクロン）乳酸発酵を促進、更に発酵を安定させるため、真空包装する。そうしてできた製品は畜産飼料添加材、又は土壌改良材として販売していく。商品名「竹のいぶき」といい、１kg６５０円で販売されているようである。利用方法としては畜産用としては、牛（肉用牛、乳牛、子牛）、鶏、ペット（犬・猫）等の餌に１～３％加えるというもので、効果としては、糞の臭いがなくなる、ハエが少なくなる、病気になりにくい、食いがよくなる等がある。土壌改良材としての利用方法としては、野菜栽培では完熟たい肥と混用する。量的には10アールあたり50kgを散布し、トラクター等で良く耕転する。人間にとっては、発がん性物質といわれる硝酸態窒素を減らし、苦味、えぐみを抑え、美味しくて安全、安心な野菜をつくる。

原材料の調達については、地元のシルバー人材により確保している。若竹を３～４メートルの長さに切り出すということで、キロ単価20円で引き取る。現在は１台の粉砕機で操業しているが、将来的には10台の機械を導入して、採算性を図るということでした。そうした時には、かなり広範囲から原材料の調達を考えているということでした。

当委員会では、昨年10月飯南町の中山間地研究センターであった、竹資源の利活用フォーラムに参加して以来２度の視察を行い、当初は荒廃する竹林を何とかしながら整備を含め利活用が出来ないものかとの、思いでこのテーマを始めたものの、竹の持ついろいろな効果、生命力に驚かせられた。今後は町の産業にどのようにつなげられるかが課題である。

住民の声

よろしく、美郷

新住民、陶芸家　橋本白道

美郷町上野に住み始めて約半年になります。

冬の三か月はひたすら薪を運び、100トン近くの松薪を集め、4月から作り始めた窯も約2カ月かかって、ほぼ出来上がりました。

上野地区の吉田さんや井上さんを中心にして、2月に立ち上がった、「ヴィエント」（私達の窯の支援を通して村に風を起こそうというグループ）の活動とも関連して、このところ、いろいろなメディアから取材を受けるようになりました。

決まって訊ねられる質問は、「美郷町を選んだ理由は何ですか？」というものです。この質問には即答できず戸惑いました。

戸惑いの理由は、美郷についてほとんど何も知らないまま、国外からいきなり美郷へ来た事が要因です。

去年の12月1日に美郷町に来るまで、私達はカリブ海のドミニカ共和国に住んでいました。

ドミニカ共和国はキューバやジャマイカの近くの島で、年間を通して気温が30度くらいあり、一年中泳ぐことが可能です。私達は週に2回は海へ行きましたので、ジャイカ（JICA）のボランティアの中では、一番多くカリブ海で時を過ごした夫婦だったでしょう。

私は日本政府から派遣され、陶芸を学ぶ場所を作るプロジェクトを進めていました。同じ陶芸家である妻は、助手として私の仕事を支えました。

2年間の任期が終わる半年くらい前から、任期後に住む予定の新しい仕事場を探し始めました。

住める家と薪窯を作る場所があり、煙が出せるところ、という条件が満たされれば、世界中どこでもよいと思っていました。

私は漫然と、ギリシャかポルトガルあたりで仕事をする光景を思い浮かべていました。ポルトガルには陶芸家の友人夫妻がいますので、可能性はあったのですが、妻はたくさんの薪を必要とする日本式の穴窯を作ることを最優先課題にしましたので、乾燥した大地でオリーブ以外の木が少なく、多量の薪の手配が難しい南ヨーロッパは選択肢から外さざるを得なくなりました。

アメリカは、穴窯がたくさんあり、大学などに友人知人も多いので、手ずるはあったのですが、旧ソビエト連邦に属していたリトアニア人である妻のビザ取得が困難で、これも選択肢から外れてゆきました。

ドミニカ共和国の首都であるサントドミンゴの、王立美術館での大掛かりな展覧会を、任期終了間際に予定していたこともあり、猛烈に忙しい中で候補地選びのメールのやりとりも思うに任せず、いろいろな国が浮かんでは消え、任期終了時に仕事場の候補地として残っていたのが日本（美郷）とカナダ（ヴェルノン）でした。

カナダの候補地は、既に穴窯とログ作りの立派な工房があり、近くの街には大きな図書館やアートスクールもあって、私はそちらに惹かれましたが、妻の反対にあいました。

カナダの陶芸工房の主は筋委縮症で、10年くらい前から陶芸の仕事はできない状態のようでした。妻は、そういう場所ではなにをやってもうまくいかないだろうと言うのです。場所には場所の持つ「気」があると、かつて私に教わったと妻に言われては、返す言葉もありませんでした。

それに、ヨーロッパとカナダはそれほど異文化というわけではなく、妻には新鮮味がないというのもうなずけました。

それを言うなら、私にとって日本は新鮮味は無いではないかと切り返しても、ドミニカ共和国での2年間は、妻は私のためについて来ただけなのだから、こんどは妻のために私がついてくる番であると言われたら、納得しないまでも受け入れるしかありませんでした。

という訳で美郷へ来た（あるいは、来てしまった）のですが、私は意外にも美郷は新鮮な場所と感じています。

なにが新鮮なのか知りたいって？

それは、あなたと会った時に語り合う事にしましょう。

編集後記

6月末、町内吾郷の定徳寺（じょうとくじ）で、飛鳥時代後期の銅造観音菩薩立像が発見されたと報道があった。

県内では最古級で、頭部が大きめで童子のようなあどけない表情が特徴とされる。

1300年もの間、衆生を見守ってくださったことや、現在までお守りされたお寺や地域の力に畏敬の念を抱く。

暗いニュースの多い昨今、朗報であった。

明るいニュースをもう一点。教育民生常任委員会で示された資料によると、町内の0歳児が53人、1歳児より20人近く上回わる。

少子化対策・若者定住対策・団塊世代の孫さんの世代等の要因と思われる。適切な時期に適切な施策の必要性を感じた。

江の川の若鮎のように元気で健やかな成長を願う。

井下　記

追記

前述の定徳寺の観音様は、島根県立古代出雲歴史博物館で、平成20年10月4日から11月30日まで一般公開される。